

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年1月14日設定）
運用方針	主としてA格相当以上の格付を有するユーロ参加国の国債、政府保証債および政府機関債に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。 運用にあたりましては、シティEMU国債インデックス(円換算ベース)をベンチマークとし、ポートフォリオの加重平均デュレーションを2年以上8年以内とした運用を行います。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ユーロ参加国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

三菱UFJ ユーロボンド ファンド(毎月分配型)

愛称: 夢満債(ユーロコース)



- 第138期（決算日：2014年8月11日）
- 第139期（決算日：2014年9月9日）
- 第140期（決算日：2014年10月9日）
- 第141期（決算日：2014年11月10日）
- 第142期（決算日：2014年12月9日）
- 第143期（決算日：2015年1月9日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ ユーロボンドファンド(毎月分配型) [愛称：夢満債(ユーロコース)]」は、去る1月9日に第143期の決算を行いましたので、法令に基づいて第138期～第143期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部
 お客様専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00, 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目次

三菱UFJユーロボンドファンド(毎月分配型)のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			シティEMU国債インデックス (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰	中 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
114期(2012年8月9日)	7,429	25	0.3	17,742.55	0.6	97.5	—	251	
115期(2012年9月10日)	7,598	25	2.6	18,558.43	4.6	97.5	—	249	
116期(2012年10月9日)	7,754	25	2.4	18,945.19	2.1	97.5	—	253	
117期(2012年11月9日)	7,763	25	0.4	19,036.50	0.5	97.2	—	247	
118期(2012年12月10日)	8,227	25	6.3	20,289.14	6.6	96.1	—	257	
119期(2013年1月9日)	8,681	25	5.8	21,738.07	7.1	97.2	—	269	
120期(2013年2月12日)	9,537	25	10.1	23,987.97	10.4	96.8	—	292	
121期(2013年3月11日)	9,470	25	△ 0.4	23,905.80	△ 0.3	94.7	—	277	
122期(2013年4月9日)	10,018	25	6.1	25,283.48	5.8	96.9	—	287	
123期(2013年5月9日)	10,026	25	0.3	25,677.25	1.6	95.6	—	285	
124期(2013年6月10日)	9,729	25	△ 2.7	25,035.66	△ 2.5	95.8	—	275	
125期(2013年7月9日)	9,674	25	△ 0.3	25,031.66	△ 0.0	97.8	—	269	
126期(2013年8月9日)	9,629	25	△ 0.2	25,099.52	0.3	96.1	—	262	
127期(2013年9月9日)	9,588	25	△ 0.2	25,129.96	0.1	96.8	—	250	
128期(2013年10月9日)	9,719	25	1.6	25,556.30	1.7	97.4	—	252	
129期(2013年11月11日)	9,794	25	1.0	25,898.70	1.3	96.4	—	254	
130期(2013年12月9日)	10,440	25	6.9	27,650.03	6.8	98.1	—	259	
131期(2014年1月9日)	10,450	25	0.3	28,024.97	1.4	97.4	—	249	
132期(2014年2月10日)	10,413	25	△ 0.1	27,960.32	△ 0.2	95.2	—	248	
133期(2014年3月10日)	10,680	25	2.8	28,904.36	3.4	96.6	—	251	
134期(2014年4月9日)	10,532	25	△ 1.2	28,609.27	△ 1.0	95.4	—	250	
135期(2014年5月9日)	10,618	25	1.1	28,999.79	1.4	96.5	—	252	
136期(2014年6月9日)	10,659	25	0.6	29,165.22	0.6	96.8	—	252	
137期(2014年7月9日)	10,594	25	△ 0.4	28,988.38	△ 0.6	97.7	—	250	
138期(2014年8月11日)	10,568	25	△ 0.0	29,019.47	0.1	97.3	—	250	
139期(2014年9月9日)	10,683	25	1.3	29,451.94	1.5	97.6	—	252	
140期(2014年10月9日)	10,752	25	0.9	29,752.81	1.0	97.2	—	253	
141期(2014年11月10日)	11,110	25	3.6	30,759.16	3.4	98.2	—	251	
142期(2014年12月9日)	11,716	25	5.7	32,676.71	6.2	96.1	—	258	
143期(2015年1月9日)	11,186	25	△ 4.3	31,408.34	△ 3.9	98.0	—	241	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) シティEMU国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、EMU(経済通貨同盟)参加国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティEMU国債インデックス(円換算ベース)とは、シティEMU国債インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		シティEMU国債インデックス		債 券	債 券
			騰 落	率	(円換算ベース)	騰 落		
第138期	(期 首) 2014年7月9日	円 10,594		% —		% —	% 97.7	% —
	7月末	10,615		0.2	29,139.02	0.5	97.9	—
	(期 末) 2014年8月11日	10,593		△0.0	29,019.47	0.1	97.3	—
第139期	(期 首) 2014年8月11日	10,568		—	29,019.47	—	97.3	—
	8月末	10,715		1.4	29,461.63	1.5	97.4	—
	(期 末) 2014年9月9日	10,708		1.3	29,451.94	1.5	97.6	—
第140期	(期 首) 2014年9月9日	10,683		—	29,451.94	—	97.6	—
	9月末	10,837		1.4	29,882.13	1.5	96.8	—
	(期 末) 2014年10月9日	10,777		0.9	29,752.81	1.0	97.2	—
第141期	(期 首) 2014年10月9日	10,752		—	29,752.81	—	97.2	—
	10月末	10,741		△0.1	29,708.88	△0.1	98.3	—
	(期 末) 2014年11月10日	11,135		3.6	30,759.16	3.4	98.2	—
第142期	(期 首) 2014年11月10日	11,110		—	30,759.16	—	98.2	—
	11月末	11,598		4.4	32,215.31	4.7	97.1	—
	(期 末) 2014年12月9日	11,741		5.7	32,676.71	6.2	96.1	—
第143期	(期 首) 2014年12月9日	11,716		—	32,676.71	—	96.1	—
	12月末	11,598		△1.0	32,411.32	△0.8	97.9	—
	(期 末) 2015年1月9日	11,211		△4.3	31,408.34	△3.9	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

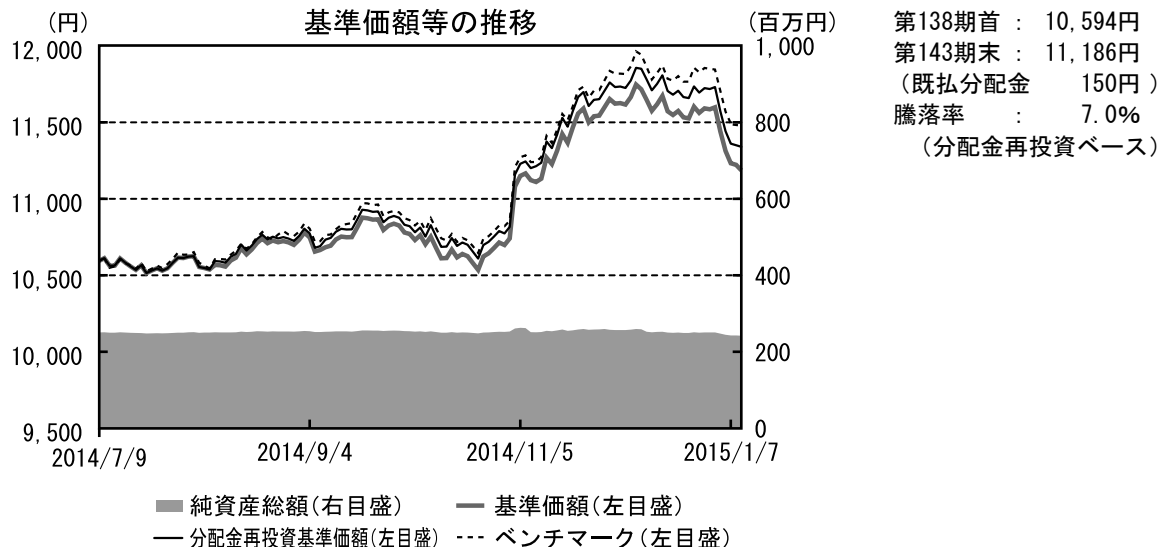
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第138期～第143期：2014/7/10～2015/1/9）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ7.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（8.3%）を1.3%下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

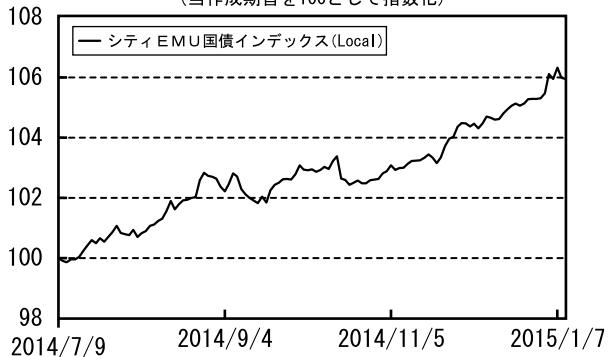
基準価額の主な変動要因

上昇要因	欧州金利が低下したことと、ユーロが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
------	---------------------------------------------

投資環境について

債券市況の推移

(当作成期首を100として指数化)



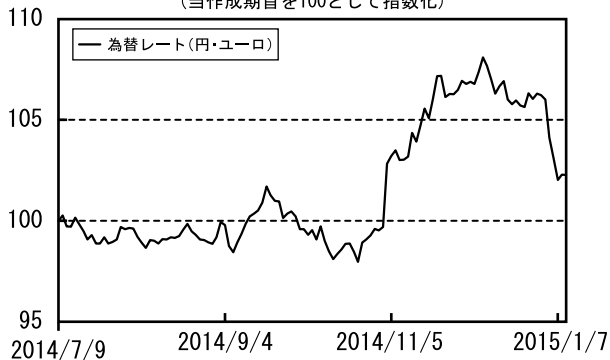
(第138期～第143期：2014/7/10～2015/1/9)

◎債券市況

- ・ E C B（欧州中央銀行）高官からの国債購入を含む追加緩和を示唆する発言などから長期金利は低下しました。なお、E C Bは2014年9月の定例理事会で政策金利の引き下げや民間資産買入策の概要を発表しました。

為替市況の推移

(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・ 円・ユーロ相場は、ユーロが円に対して上昇（円安）しました。日銀による「量的・質的金融緩和」の拡大などから、円が主要通貨に対して売られる展開となり、ユーロは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

当作成期を通じて債券現物の高位組み入れを維持しました。

◎デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

債券デュレーションについては、金融政策の影響を受けやすい中期ゾーンを中心に保有したため、作成期を通じてベンチマーク比概ね中立を維持しました。

◎国別構成比率

相対的に金利水準が高いアイルランド、フランスの国債を中心とした組入比率としました。

組入債券の価格が上昇したことなどが基準価額の上昇に寄与しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2014年7月9日）

最終利回り	1.1%
直接利回り	3.4%
デュレーション	6.7年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。



作成期末（2015年1月9日）

最終利回り	0.6%
直接利回り	2.8%
デュレーション	7.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2014年7月9日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	18.2%	3
AA格	52.5%	8
A格	0.0%	0
BBB格	27.0%	1
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソフリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

作成期末（2015年1月9日）

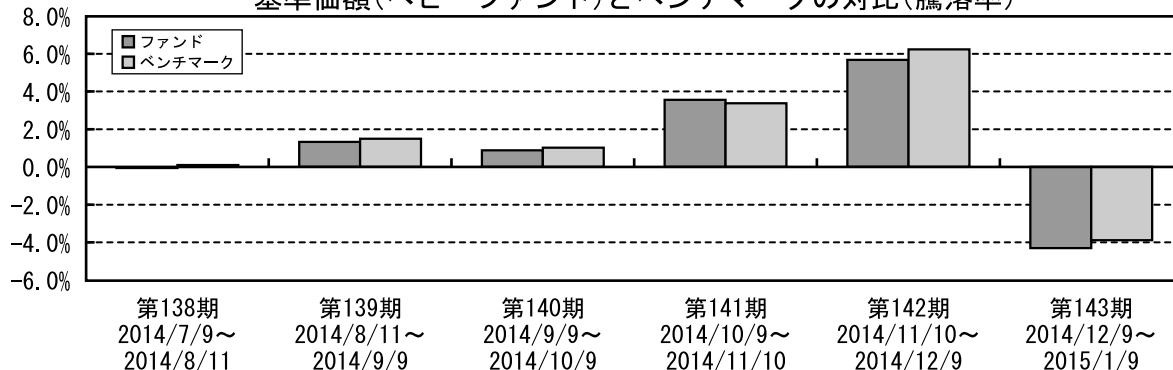
格付種類	比率	銘柄数
AAA格	21.4%	2
AA格	47.8%	4
A格	0.0%	0
BBB格	28.8%	2
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソフリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

（第138期～第143期：2014/7/10～2015/1/9）

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当作成期の基準価額騰落率は、分配金再投資ベースで7.0%の上昇となり、ベンチマークであるシティEMU国債インデックス（円換算ベース）の8.3%の上昇を1.3%下回りました。上昇幅がベンチマークを下回った主な要因は次の通りです。

（マイナス要因）

- ・スペインやイタリアを非保有としているため、スペインとイタリア国債の利回り低下時にマイナス要因となりました。

※スペイン国債およびイタリア国債については、当ファンドで定めているA格相当以上の格付基準に抵触しているため、当作成期間中、非保有としていました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2014年7月10日～ 2014年8月11日	2014年8月12日～ 2014年9月9日	2014年9月10日～ 2014年10月9日	2014年10月10日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月9日	2014年12月10日～ 2015年1月9日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.236%	0.233%	0.232%	0.225%	0.213%	0.223%
当期の収益	21	25	25	25	25	15
当期の収益以外	3	—	—	—	—	9
翌期繰越分配対象額	2,380	2,382	2,383	2,387	2,709	2,700

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（運用環境の見通し）

- ・ 欧州長期金利は低下余地を探る展開が想定されます。ECBは景気や物価の下振れリスクに対応して、引き続き金融緩和姿勢を維持するものと思われます。

（今後の運用方針）

- ・ かかる環境下、必要に応じて債券デュレーションおよびユーロ圏の国別投資比率をベンチマーク比調整する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年7月10日～2015年1月9日)

項 目	第138期～第143期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 63	% 0.572	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.218)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.327)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.032	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	外国での資産の保管等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	66	0.604	
作成期中の平均基準価額は、11,017円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年7月10日～2015年1月9日)

公社債

			第138期～第143期	
			買付額	売付額
			千ユーロ	千ユーロ
外国	ユーロ			
	ドイツ	国債証券	200	173
	フランス	国債証券	281	345
	オランダ	国債証券	55	57
	ベルギー	国債証券	320	429
	アイルランド	国債証券	117	125

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2014年7月10日～2015年1月9日)

利害関係人との取引状況

		第138期～第143期				
区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	—	—	—	27	11	40.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年1月9日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

		第143期末							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
		千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ユーロ									
ドイツ	305	366	51,838	21.4	—	21.4	—	—	—
フランス	368	472	66,751	27.6	—	27.6	—	—	—
オランダ	75	85	12,067	5.0	—	5.0	—	—	—
ベルギー	230	260	36,876	15.2	—	15.2	—	—	—
アイルランド	400	492	69,554	28.8	—	28.8	—	—	—
合 計	1,378	1,677	237,088	98.0	—	98.0	—	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第143期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	3 BUND 200704	3.0	265	307	43,519	2020/7/4
		3.25 BUND 420704	3.25	40	58	8,318	2042/7/4
フランス	国債証券	3.25 O.A.T 211025	3.25	278	331	46,878	2021/10/25
		5.5 O.A.T 290425	5.5	90	140	19,873	2029/4/25
オランダ	国債証券	2.25 NETH GOVT 220715	2.25	75	85	12,067	2022/7/15
ベルギー	国債証券	2.25 BEL GOVT 230622	2.25	230	260	36,876	2023/6/22
アイルランド	国債証券	3.4 IRISH GOVT 240318	3.4	100	118	16,782	2024/3/18
		5 IRISH GOVT 201018	5.0	300	373	52,772	2020/10/18
小計						237,088	
合計						237,088	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年1月9日現在)

項目	第143期末	
	評価額	比率
公社債	千円 237,088	% 97.7
コール・ローン等、その他	5,549	2.3
投資信託財産総額	242,637	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産(241,042千円)の投資信託財産総額(242,637千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1ユーロ=141.36円			
--------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
	2014年8月11日現在	2014年9月9日現在	2014年10月9日現在	2014年11月10日現在	2014年12月9日現在	2015年1月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	251,671,637	252,989,612	254,074,714	261,611,107	283,107,399	242,637,963
コール・ローン等	3,294,751	2,055,127	2,726,963	2,342,500	2,307,690	2,568,709
公社債(評価額)	244,045,709	246,117,047	246,075,979	246,546,977	248,738,611	237,088,313
未収入金	—	—	—	11,076,622	29,835,856	—
未収利息	2,431,196	2,631,790	1,998,371	1,092,938	1,691,395	1,996,132
前払費用	1,836,798	2,104,027	3,175,347	436,974	400,525	835,001
その他未収収益	63,183	81,621	98,054	115,096	133,322	149,808
(B) 負債	850,224	818,350	826,607	10,513,828	24,230,684	782,290
未払金	—	—	—	—	23,445,683	—
未払収益分配金	593,328	590,107	588,842	565,039	552,414	540,511
未払解約金	—	—	—	9,697,148	—	—
未払信託報酬	255,881	227,342	236,829	250,646	231,670	240,823
その他未払費用	1,015	901	936	995	917	956
(C) 純資産総額(A-B)	250,821,413	252,171,262	253,248,107	251,097,279	258,876,715	241,855,673
元本	237,331,328	236,043,069	235,537,179	226,015,732	220,965,663	216,204,514
次期繰越損益金	13,490,085	16,128,193	17,710,928	25,081,547	37,911,052	25,651,159
(D) 受益権総口数	237,331,328口	236,043,069口	235,537,179口	226,015,732口	220,965,663口	216,204,514口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,568円	10,683円	10,752円	11,110円	11,716円	11,186円

○損益の状況

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2014年7月10日～ 2014年8月11日	2014年8月12日～ 2014年9月9日	2014年9月10日～ 2014年10月9日	2014年10月10日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月9日	2014年12月10日～ 2015年1月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	777,135	678,855	673,045	665,321	626,357	605,882
受取利息	761,559	661,502	657,205	671,883	616,296	589,476
その他収益金	15,576	17,353	15,840	△ 6,562	10,061	16,406
(B) 有価証券売買損益	△ 531,113	2,864,246	1,766,930	8,252,963	13,484,892	△11,251,652
売買益	2,145,065	3,331,998	2,543,985	8,615,304	13,575,370	1,858,311
売買損	△ 2,676,178	△ 467,752	△ 777,055	△ 362,341	△ 90,478	△13,109,963
(C) 信託報酬等	△ 258,826	△ 247,870	△ 243,133	△ 273,241	△ 238,239	△ 261,943
(D) 当期繰入金(A+B+C)	△ 12,804	3,295,231	2,196,842	8,645,043	13,873,010	△10,907,713
(E) 前期繰越繰入金	△ 1,364,731	△ 1,954,761	747,895	2,267,254	10,060,494	22,882,506
(F) 追加信託差損益金	15,460,948	15,377,830	15,355,033	14,734,289	14,529,962	14,216,877
(配当等相当額)	(38,999,247)	(38,821,884)	(38,780,152)	(37,212,420)	(36,480,242)	(35,694,184)
(売買損益相当額)	(△23,538,299)	(△23,444,054)	(△23,425,119)	(△22,478,131)	(△21,950,280)	(△21,477,307)
(G) 計(D+E+F)	14,083,413	16,718,300	18,299,770	25,646,586	38,463,466	26,191,670
(H) 収益分配金	△ 593,328	△ 590,107	△ 588,842	△ 565,039	△ 552,414	△ 540,511
次期繰越繰入金(G+H)	13,490,085	16,128,193	17,710,928	25,081,547	37,911,052	25,651,159
追加信託差損益金	15,460,948	15,377,830	15,355,033	14,734,289	14,529,962	14,216,877
(配当等相当額)	(38,999,247)	(38,821,884)	(38,780,152)	(37,212,420)	(36,480,242)	(35,694,184)
(売買損益相当額)	(△23,538,299)	(△23,444,054)	(△23,425,119)	(△22,478,131)	(△21,950,280)	(△21,477,307)
分配準備積立金	17,508,854	17,422,712	17,362,675	16,747,265	23,381,090	22,685,934
繰越繰入金	△19,479,717	△16,672,349	△15,006,780	△ 6,400,007	—	△11,251,652

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞

- ①作成期首（前作成期末）元本額 236,512,020円
 作成期中追加設定元本額 4,552,389円
 作成期中一部解約元本額 24,859,895円
 ②分配金の計算過程

	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
費用控除後の配当等収益額	A 518,309円	631,363円	605,989円	644,937円	615,779円	343,939円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	B -円	-円	-円	-円	7,037,356円	-円
収益調整金額	C 38,999,247円	38,821,884円	38,780,152円	37,212,420円	36,480,242円	35,694,184円
分配準備積立金額	D 17,583,873円	17,381,456円	17,345,528円	16,667,367円	16,280,369円	22,882,506円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D 57,101,429円	56,834,703円	56,731,669円	54,524,724円	60,413,746円	58,920,629円
当ファンドの期末残存口数	F 237,331,328口	236,043,069口	235,537,179口	226,015,732口	220,965,663口	216,204,514口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000 2,405円	2,407円	2,408円	2,412円	2,734円	2,725円
1万口当たり分配金額	H 25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金額	I=F*H/10,000 593,328円	590,107円	588,842円	565,039円	552,414円	540,511円

○分配金のお知らせ

	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
1万円当たり分配金(税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※2014年1月1日より、少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」がご利用になれます。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

[お知らせ]

①運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

②新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

③デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

④2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。